

出演者プロフィール

奥村文野 Ayano Okumura

ルネサンス・バロックダンス。3歳からピアノを始め、後に声楽を松崎典子、近藤道子両女史に師事し、フランス歌曲を中心に研究。愛知淑徳大学卒業後フランスへ留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院等で、E.セリグ、R.ルネストゥール、C.ド・ビュシー各女史等に声楽、室内楽を、C.グラシオ・ムーラ、A.イエペス、A.-M.ガルデット、B.ゴンドーニ各女史等にフレンチ、イタリアン、スパニッシュ各種のバロックダンス及びルネサンスダンスを、N.ルイエ女史にバロックジェスチャーを学ぶ。パーセルの「アーサー王」等のバロックオペラを始め、フランスを中心に数々のオペラやコンサートに出演し、コンセルヴァトワールのダンス講師も務める。

現在は日本でもダンスコンサートをはじめ、フランスで長年学んだことを日本に伝え、また日本ではまだ馴染みが薄いフレンチスタイルの宮廷舞踊を日本の方に知って頂く為に、オンライン及び対面方式での講習会、ワークショップ、ルネサンス式舞踏会も精力的に展開している。



バロックランチの会 Baroque Lunch Chamber Orchestra

バロック時代の知られざる名曲を掘りおこして演奏する室内オーケストラ。チェンバリスト渡邊温子による解説付きのコンサートに定評がある。自筆譜や作品成立当時の出版譜などを読み解き試演した楽曲は2015年の結成以来80曲以上。毎回メンバーがセレクトしたパンと特製スープでランチをしてからリハーサルをすることから『バロックランチの会』のネーミングとなる。2022年4月、NHKテレビ番組『サラメシ』にて練習風景が放映される。また同年6月鴻巣市「花久の里」でのコンサートは一般財団法人チェンバロ振興財団クーランの助成公演に採択された。

メンバー フルート・鈴木真紀子 オーボエ 宮田麻沙代、ヴァイオリン 五十嵐彩子
生方真里 岡田邦子、ヴィオラ 芦川侑美、チェロ 多湖あかね、
主宰/チェンバロ/解説 渡邊温子

コンサート情報はこちら！→

